

最近流行している夏カゼとは？

毎日暑い日が続きますね。屋外と冷房の効いた部屋などの行き来で、体温調節が難しく体調を崩してしまう子ども達が少なくありません。そこに夏カゼが流行します。

プール熱

最近、徐々に増えてきているのが「**プール熱**」です。プールの水を介して集団感染しますが、飛沫感染もあります。4~5日間の高熱とのどの痛み、目の充血や目やにが特徴で「**咽頭結膜炎**」（いんとうけつまくえん）が正式名です。登園登校は、症状がなくなった後に2日経過してからです。また、**アデノウイルス**が体内に残っているため、プールへは3週間程度は禁止です。

予防は、プールから上がった後よく目と手を洗い、うがいをすること。シャワーでプールの水をよく洗い流すこと。家では、タオル、洗面器、食器などを家族と共用しないことです。

ヘルパンギーナ

また最近良く見られるのが**エンテロウイルス**による「**ヘルパンギーナ**」という夏カゼです。突然の発熱と咽頭痛が特徴です。2~4日の潜伏期間の後、2~4日間の発熱、喉チンコの周りに赤いブツブツがあり、口内炎のため水分もとれないので時々点滴になることがあります。2~4週間にわたって便からウイルスが排泄され感染力は残っていますが、症状が軽ければ登園可とします。従って、流行阻止は無理なのです。

手足口病

また同じ**エンテロウイルス**が原因の「**手足口病**」があります。手のひら、足の裏、ひざ、お尻に小さい水泡ができます。時々、口内炎が強くなり、痛み止めや点滴が必要になる場合もあります。潜伏期間は3~5日で、3~5週間ほどウイルスの排泄（便から）があるため感染力が持続します。しかし、症状が軽症のことが多いため、口内炎がよくなり飲み食いができれば登園可としています。これも感染予防は困難です。

突発性発疹

年中見られる発熱で、赤ちゃんが生まれて初めて経験する感染症が、「**突発性発疹**」でしょう。1歳未満の乳児で2~3日の高熱が続いた後、突然全身に発疹がでます。熱がある時には比較的元気ですが、発疹出現後は機嫌が悪くなり、ぐずる傾向があります。まだ感染経路が不明で集団感染もみられません。熱が下がり元気であれば、発疹があっても登園はOKです。**ヒトヘルペスウイルス6**が原因ですが、他のウイルスでも同じ症状を起こすため、2度かかる事もあります。

以上、最近見られる発疹（ほっしん）を伴うウイルス感染症を紹介しました。

ご参考までに！ （たまなは）